

新幹線協議会「第7回定期委員会」開催！



新幹線協議会では6月28日に東京地本会議室において「第7回定期委員会」を開催しました。当日は43名の仲間が結集し、この一年間の運動の総括と新たな方針について議論を行いました。

近藤議長より「この一年間、新幹線協議会では委員会発言や職場の声を元に地道に運動を展開し、女性設備の改善など成果につなげることができた。昨年の定期委員会では安全問題が大きく取り沙汰されたが、この一年も事故、事象が続発した。我々の価値基軸は命であり、新幹線、JR 東日本の安全を職場からの議論でつくり出していこう！」との挨拶がありました。

また来賓としてご参加いただいた本部加藤中央執行委員長からは「新たな組織と働き方」についての解明交渉経過や人賃や組織再編の問題点と向き合い方について、「JR 武蔵小金井駅暴行事件」の裁判での会社の答弁書などの問題点の挨拶をもらい、健全な JR 東日本会社を目指すことを確認しました。

参加した16名の委員からは「新たな組織と働き方」「スマートメンテナンス」「列車分離」「安全問題」「職場代表選」等について職場の現実や課題、この一年間の取り組みで改善された成果や今後についてなどさまざまな発言があり、活発な議論が行われました。

委員会では、伊藤千恵蔵新議長のもと新たな体制での一年間がスタートしました。新幹線協議会では今後も「命」を価値基軸に「安全を第一」に「定期昇給を軸とした新たな格差と分断、不利益変更反対！安全・健康・生活を守るため、全組合員でたたかおう」のもと運動を展開して行きます！

安全で働きやすい職場を目指し、新幹線協議会は活動します！